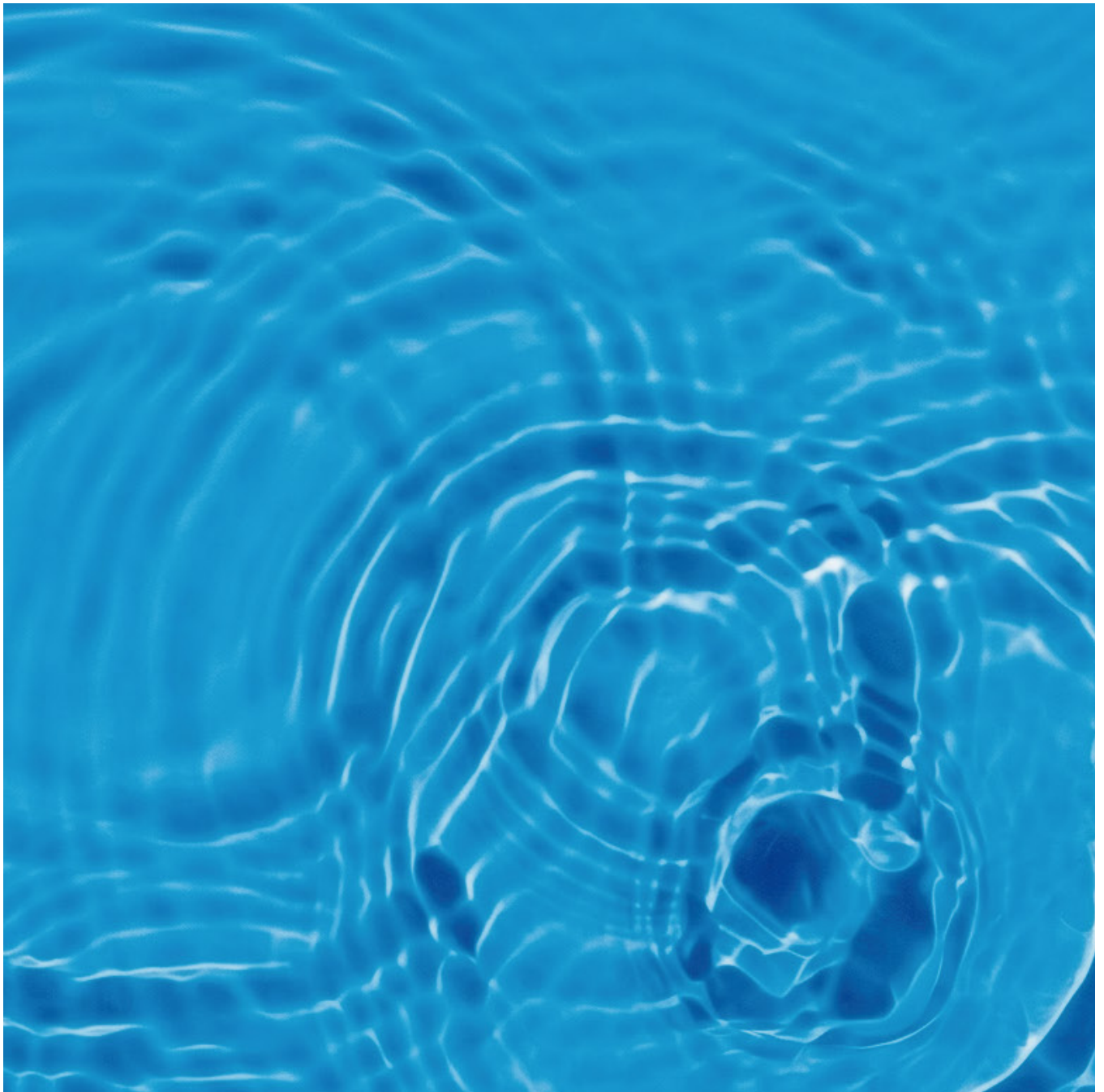


# 公立 | 静岡文化芸術大学

SHIZUOKA UNIVERSITY OF ART AND CULTURE

SUAC  
2026

## 大学概要



私たちはこのような大学を目指します

## 実務型の人材を養成する大学

豊かな人間性と的確な時代認識や社会認識を持ち、  
国際社会の様々な分野で活躍できる人材を養成していきます。

## 社会に貢献する大学

地域、国際、世代が教育研究の場で幅広く融合する「開かれた大学」  
として地域社会や国際社会の発展に貢献していきます。

## 静岡文化芸術大学のあゆみ

平成 7 年 (1995)	9 月	静岡県議会で「新大学整備基本構想」を公表
平成 9 年 (1997)	6 月	大学名を「静岡文化芸術大学」と決定
平成 11 年 (1999)	12 月	文部大臣より学校法人設立及び大学設置認可
平成 12 年 (2000)	4 月	開学 木村尚三郎学長 就任
平成 15 年 (2003)	11 月	文部科学大臣から大学院設置認可
平成 16 年 (2004)	4 月	大学院開設
平成 16 年 (2006)	4 月	デザイン学部技術造形学科をメディア造形学科に名称変更
平成 19 年 (2007)	4 月	川勝平太学長 就任
平成 22 年 (2010)	1 月	熊倉功夫学長 就任
平成 22 年 (2010)	4 月	学校法人から静岡県設立の公立大学法人へ移行 有馬朗人理事長 就任
平成 22 年 (2010)	10 月	創立10周年記念式典挙行
平成 27 年 (2015)	4 月	デザイン学部3学科を「デザイン学科」1学科 (5領域) に再編
平成 28 年 (2016)	4 月	横山俊夫学長 就任
平成 30 年 (2018)	4 月	フェアトレード大学認定 (アジア初)
平成 31 年 (2019)	4 月	文化政策学部に「文明観光学コース」、 デザイン学部に「匠領域」を設置 (第6領域)
令和元年 (2019)	5 月	CUMULUS (アート・デザイン・メディアに関する国際大学協会) に加盟
令和 2 年 (2020)	7 月	創立20周年記念事業開始 (コロナ禍により規模縮小)
令和 2 年 (2020)	12 月	有馬朗人理事長 逝去、横山学長 (副理事長) が理事長代行
令和 4 年 (2022)	4 月	横山俊夫理事長兼学長 就任
令和 7 年 (2025)	4 月	文化政策学部「オブショナル・スタディーズ」を設置、 デザイン学部1学科6領域から1学科で横断的に 幅広く学ぶ新カリキュラム開始
令和 8 年 (2026)	4 月	佐々木雅幸理事長兼学長 就任

# 文化とデザインの時代を拓く 担い手の養成

21世紀は「文化とデザインの時代」と言われます。

20世紀において科学と技術は飛躍的に発展しましたが、むしろ私たちはいま、

分断や環境危機、価値の空洞化といった課題に直面しています。

科学技術の成果を、人間と自然が共創する未来へと結び直す営みこそ、21世紀の核心的課題です。

この課題は、地域社会においても、地球規模においても切実です。

文化は人々の意味世界を形成し、社会の方向性を指し示す力です。

デザインは異なる知や価値を統合し、持続可能な仕組みへと構想する創造的行為です。

文化の力とデザインの力を洞察する感性と知性を備え、それらを通じて市民、企業、行政、大学、

そして自然を結びつける「共創」の担い手の養成が急務です。

国内外から優れた才能が年々本学に集うことは、大きな喜びであり、責任でもあります。

数々の創造者を生み出してきた遠州の風土に抱かれたこのキャンパスは、自然と歴史と産業文化が交差する「創造の場」です。

この地に学ぶ若者たちが、文化とデザインの力をもって地域と世界をつなぎ、

人間と自然が共に生きる未来を構想し実践していくことを、私たちは深い感謝とともに願い、

身の引き締まる思いでその使命を担っています。

静岡文化芸術大学 理事長・学長

佐々木 雅幸



# 社会に貢献する大学を目指して

## 学びの環境

モノづくりと多文化が共生するまち「浜松」の精神が息づく新スタイルの大学です。

技術や文化を通し、地域に世界に開かれたまちであるように、本学も「開かれた大学」を目指しています。

JR浜松駅から徒歩15分という都市型キャンパスは、「ユニバーサルデザイン」の理念が取り入れられており、充実した施設・設備が整った緑豊かな環境となっています。静岡県が、県を挙げて取り組んでいるユニバーサルデザインの分野では、本学から素晴らしい研究成果も誕生しています。

また、全国的にも外国人在住人口が多い浜松市は多文化共生の先進都市であり、言語、習慣、文化の違いを超えて共生するモデル地区としても注目されています。国内外で活躍中のユニークで著名な教授陣が名を連ねており、実践重視の教育方針で「実務型の人材」を育成します。

## 学部・学科の構成



公式WEBサイト



公式SNS

## 学びの特色

### 少人数教育

語学や情報処理、演習授業など、多くの科目で少人数のクラス編成による教員と学生の対話、コミュニケーションを重視した環境を用意しています。一人ひとりの学生を尊重し、個々の自由な発想を導き出す、きめ細やかな指導を行っています。

### 導入教育

本学では、大学への学びの導入として、「文化芸術体験演習」と「学芸の基礎」を1年次に設置しています。「文化芸術体験演習」では、落語や狂言、写真、茶道の4ジャンルを実際に体験して文化や芸術を学ぶことにより、感性を磨きます。「学芸の基礎」では、読む、書く、調べるを中心に大学で学ぶ上での学習の基礎を習得します。

### 柔軟な学習領域の選択

2学部共通の科目が多く設けられていることに加え、他学部・他学科の授業科目でも履修できます。指定の他大学や海外研修先での取得単位も本学での単位として認める単位交換も実施しています。

### 免許・資格の取得支援

それぞれの学科のカリキュラムにより、教員、学芸員、図書館司書、建築士、日本語教員などの免許・資格取得につながる科目を設定。キャリア支援室主催の公務員試験講座等さまざまな就職支援講座も設けられ、免許・資格の取得を支援し、学生の将来をサポートしています。

### 実践教育

実社会で役立つ力を涵養するため、本学では実践教育を重視しています。課題を見つけ解決する方法を学ぶ科目や、実社会に出て体験を通して地域課題への理解を深める科目、また自らのテーマを持って主体的に実践・提案する科目を設けています。

### 社会から求められる実践的な語学・情報処理

情報化・国際化が進む社会では、語学や情報処理の能力が求められます。英語・中国語を必修外国語とし、フランス語・ポルトガル語など8言語の選択履修が可能。ネイティブスピーカーや専任教員による実践的な語学・情報処理教育を行っています。

### 2学部との交流

文化とデザインの融合を目指し、それぞれの視点を理解することで新しい価値を生み出していきます。実践演習の他、課外においてもギャラリーや工房などで企画展を実施し、そのスタッフとして両学部の教員や学生が関わり、同じ目的のために共に学ぶ貴重な機会も得られています。

### 地域との連携

地域に根ざした開かれた大学として、施設開放をはじめ、企業や地域社会との交流も積極的に行っています。自治体やNPO、地域企業との連携や産官学共同研究の実施、地域イベント等への参加を通じ、学生たちの広い視野を養っていきます。



# 文化政策学部

学部長：加藤裕治

## 創造的な思考力を身につけ、現代社会の課題に取り組むことができる人材を。

文化政策について体系的に学ぶことで、人々の考え方や暮らしの多様性を理解し、社会の発展に貢献できる創造的な思考力を育てます。現代社会が直面するさまざまな課題に対して、自ら考え、文化と社会の関わりを深く学ぶことで、新しい価値を生み出し、よりよい未来を築くための視点を身につけます。文化政策学部では社会の課題解決に向けて積極的に取り組める人材を輩出することで、社会に貢献していきます。



## 文化政策学部の3学科

文化政策学部では、「国際文化学科」、「文化政策学科」、「芸術文化学科」の3つの学科を設け、社会と文化のかかわりを専門的に学びます。

一定の領域を持ちながらも、3つの学科は互いに関係しています。複雑、多様な社会について、専門領域だけでなく周辺領域の知識にも触れながら、広く、深く学んでいきます。

### 3学科横断型の 文明観光学コース

3学科横断プログラム

### オプション・スタディーズ

## 国際文化学科

入学定員：100名／学科長：横田秀樹

### 異文化を理解し、国際的にコミュニケーションできる人材を養成します。

国際文化学科では、文学・歴史から政治・経済まで、広範に世界の多様な文化を学びます。異文化を学ぶ上で必要な語学も、8言語の科目が設けられています。世界各地の文化について探究すると同時に、自国の文化について振り返ることは、より深い文化理解を可能とします。あらゆる分野で異文化への理解が要求される現在、本学科では、幅広い文化的教養を身につけ国際的にコミュニケーションできる、知性と感性にあふれた人材を養成します。

#### 取得可能な資格

中学校教諭一種（国語、英語）  
高等学校教諭一種（国語、英語）  
図書館司書  
日本語教員養成課程  
社会調査士

#### 主な進路

製造業や運輸・通信業の国際部門、商社・卸売業、放送・広告・印刷業、旅行・観光・ホテル業、金融業、流通・小売業、官公庁、教員 など

## 文化政策学科

入学定員：55名／学科長：林左和子

### 政策・経営・情報の視点から、新たな人間と社会のあり方を探求できる人材を養成します。

文化政策学科では、社会と地域の特性をふまえた上で、人々の生活の質と生きがいを向上させるためにはどのような方策が必要かを学びます。そのために、「政策」、「経営」、「情報」の視点から、社会の課題について多角的に考察し、生活、地域、産業のあるべき形を探求します。このようなカリキュラムを通じて、行政やビジネスの現場で役立つ理論と実践的なスキルを身につけ、地域や産業の活性化に貢献できる分析力、思考力、行動力を兼ね備えた人材を養成します。

#### 取得可能な資格

中学校教諭一種（社会）  
高等学校教諭一種（公民）  
図書館司書  
社会調査士

#### 主な進路

地方自治体（公務員）や公益法人、金融業・製造業・流通業・保険業・観光業・広告業・IT企業等の企画・販売・広報・管理部門、教員など

## 芸術文化学科

入学定員：55名／学科長：高島知佐子

### 芸術とそれを取りまく社会について理解し、芸術の持つ力を現代社会で活かすことのできる人材を養成します。

芸術文化学科では、「文化と芸術」「政策とマネジメント」というカリキュラムにおける2つの主要な柱があり、芸術文化について人文科学、社会科学の両面から多角的、学際的に学ぶことができるのが特徴です。加えて「芸術運営の実践」では、博物館等での展示や劇場のプロデュース、舞台の運営などの手法を実践的に学びます。理論と実践とのバランスがとれたカリキュラムで、多様な分野で芸術が持つ力を社会に活かすことのできる人材を養成します。

#### 取得可能な資格

図書館司書  
博物館学芸員  
社会調査士

#### 主な進路

文化会館・ホール（文化財団職員）、博物館・美術館（学芸員）、芸術文化団体、マスコミ・出版業、広告代理店、サービス業、情報産業、地方自治体（公務員）など



# デザイン学部

学部長：藤井尚子

## 「人と□」の、より良い関係を考え、提案し、創造する。

時代とともに変化する人間や文化の多様性を視野に入れ、すべての人に公平でやさしいデザインによる新しい文化・人間社会の創造を通じて、地域社会の発展や文化の向上に貢献し、国際的に活躍できる人材を育成します。

4年間の学びにおいて、人と人、人と技術、人と環境、人と情報とのより良い関係を考え、創造を支える技術と美的感覚を養い、時代に即した生活文化を作り上げていくデザイン活動の素養を磨いていきます。

### 進路(例)

- |               |            |            |
|---------------|------------|------------|
| プロダクトデザイナー    | クラフトデザイナー  | インテリアプランナー |
| Web デザイナー     | 商品企画       | 一級・二級建築士   |
| エディトリアルデザイナー  | デザインディレクター | 商業施設士      |
| グラフィックデザイナー   | パッケージデザイナー | 公務員        |
| ゲームデザイナー      | CG デザイナー   | 大学院進学      |
| インターフェイスデザイナー | 家具デザイナー    |            |

## 基礎的な学び

### デザイン基礎

社会が求める統合的かつ多様なデザイン力を涵養するため、幅広いデザイン領域に共通する概念や理論の修得および現代のデザインへ繋がる歴史やデザインをとりまく社会等に関する知識の修得、国際的なデザイン活動を支える基礎力の修得を目指す科目群から学びます。

### デザイン技法

豊かな感性と想像力を備えたデザイナーとして社会で活躍するために、考えたアイデアを平面や立体的に表現することで、デザイナーに必要とされる顧客や社会とのコミュニケーションを図る手法を学ぶとともに、新たなアイデアの創造につながるデザインの基礎から応用にわたる造形技法を修得するための科目群から学びます。

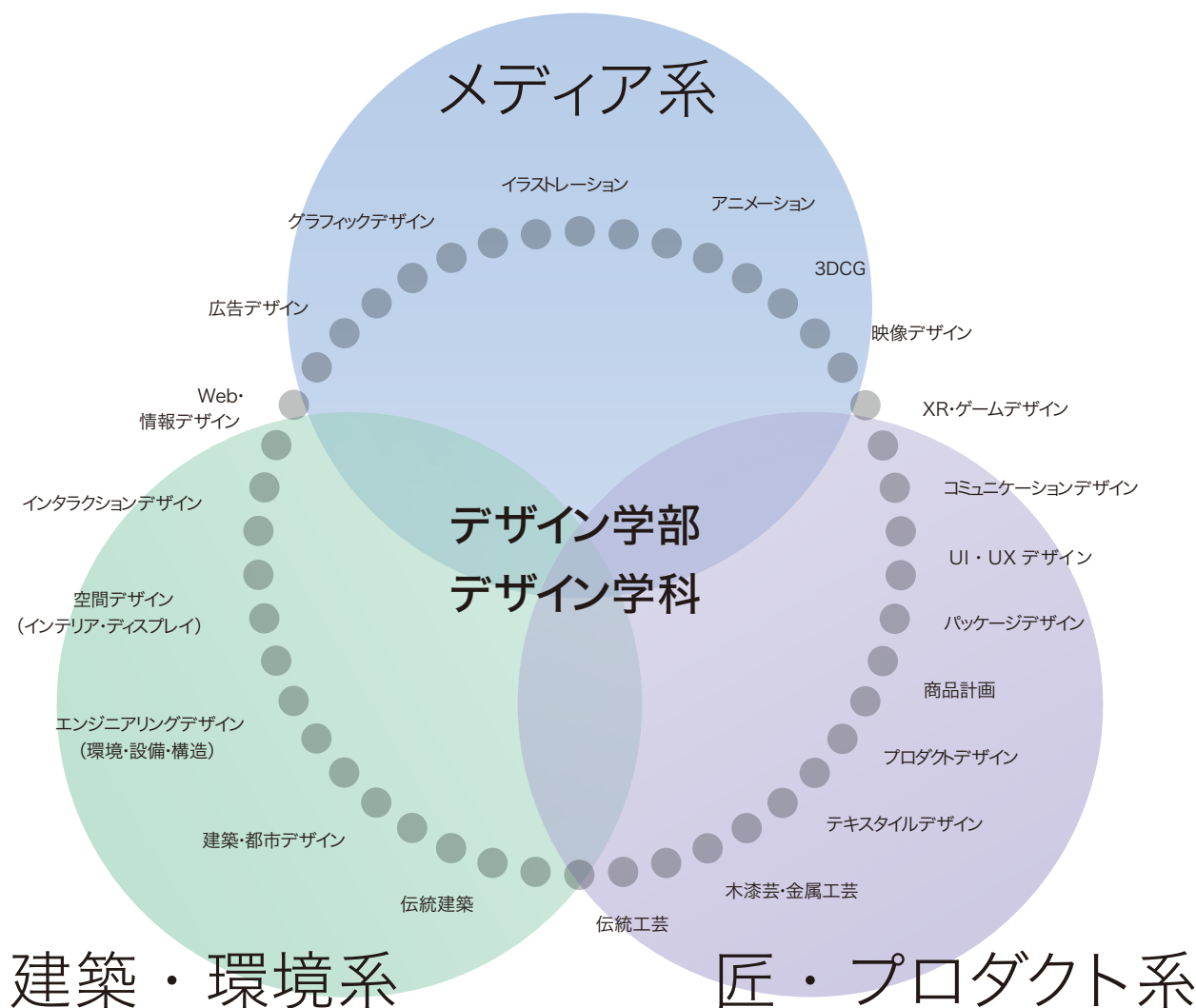
### UD/インクルーシブデザイン

本学のデザイン教育・デザイン研究の基調となる、文化・能力・年齢・性別等の違いに関わらず全ての人にやさしいユニバーサルデザイン、あらゆる立場の人を含むインクルーシブデザインの考え方を理解し、社会の中で幅広く実践できる能力を養う科目群から学びます。

### 学科専門

1年次後期から2年次前期において、複数領域の基礎演習を体験することを通じて専門的な知識や造形技法を修得し、デザインを総合的に捉え、実践できる力を養う科目群から学びます。

学びの方向性を選択



※図の3つの系とは、デザイン学科で学ぶなかで進路といった目指していく方向性をイメージしたものです。

# 大学院

21世紀は「市民」の時代と言われています。それは、これからは「政府」「企業」ではなく「市民」が主体となり、自分たちの望む社会を創造していくことを意味しています。大学院では、市民社会のリーダーに必要な、様々な価値観を尊重しつつとりまとめていく、課題解決の能力を養成します。

## 文化政策研究科

文化政策専攻 修士課程（2年）／定員：10名／研究科長：上山典子

### 文化の力を形にし、社会に提供できる人材を

人間社会において、文化は人を動かし、束ねる大きなエネルギー源です。また、様々な示唆と知恵を人間に与えてくれる集合体でもあります。こうした文化の力を、人間の未来社会のために形にする営みが「文化政策」とも言えます。私たちは、文化・芸術創造や組織運営のあり方を探求し、「文化政策」をプロジェクトや政策として提案できるプロフェッショナルな人材を育成します。

### 現場からの学びを重視した実践的なカリキュラム

文化政策研究科では、専門的な文献研究だけでなく、実践の場でのフィールドワークや調査を重視し、文化・芸術のもつ可能性を可視化・具体化できる人材を育成していきます。院生は以下の3つの研究専門領域から1つを選び、領域横断的で学際的な研究を教員の指導のもと展開していきます。



### アーツアンドカルチュラルマネジメント

#### Arts and Cultural Management

楽団、劇団、美術館などの民間および公立の施設運営、行政の文化政策、文化産業、文化イベントなどのあり方や可能性に関する研究を行う。

### 地域政策マネジメント

#### Regional Policy and Management

まちづくりや地域活性化、コミュニティ政策、自治体改革、行政評価など、未来の地域に必要な活動や政策のあり方や可能性に関する研究を行う。

### グローカルスタディーズ

#### Glocal Studies

グローバル化の影響で、世界的規範や法、地域社会にどのような変化が生まれているのか、そして未来の持続可能な社会のあり方や可能性に関する研究を行う。

修士論文

演習科目

● 演習 I ● 演習 II

基幹科目

- アーツアンドカルチュラルマネジメント専門領域の科目
- 地域政策マネジメント専門領域の科目
- グローカルスタディーズ専門領域の科目

基礎科目

- 文化政策研究の方法
- アクションリサーチ基礎
- リサーチワークショップ

# デザイン研究科

デザイン専攻 修士課程（2年）／定員：10名／研究科長：中野民雄

## 社会を見据え、新たなデザインを探求する。

いまデザインは、深く社会にかかわり、問題を美しく解決するための方法として大きく期待されています。人間や社会、地球環境に対する深い造詣とモノづくりへの情熱をベースに、企画立案能力から実務的設計能力まで、これからのデザインプロフェッショナルに必要な専門知識と応用能力を高め、社会の要請に応える人材を養成していきます。

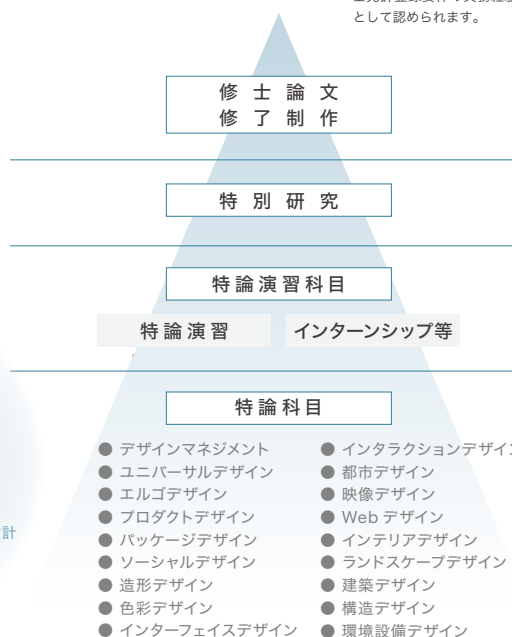
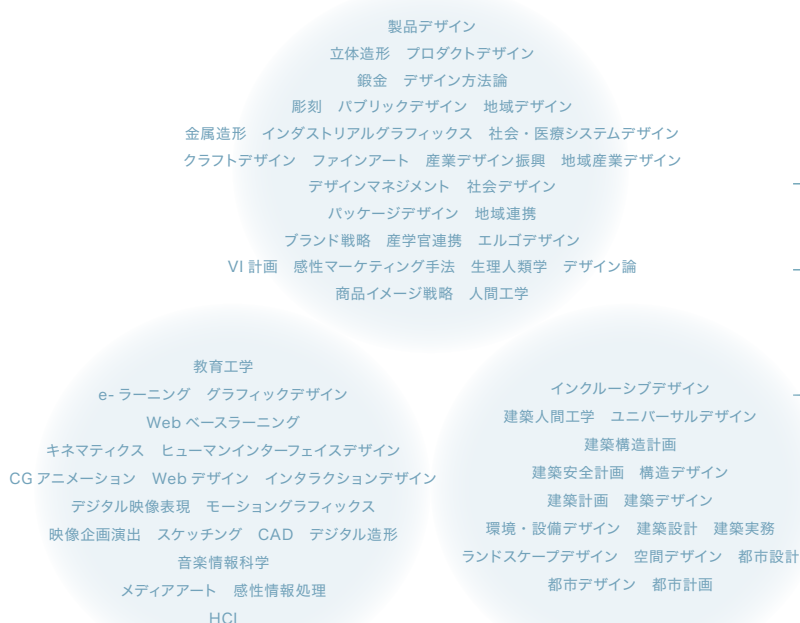


## 研究分野

高度情報化、循環型社会への転換、そして高齢化の進展など、大きく変化する時代環境にあって、デザインに要請される内容は多様化し、デザイナーには専門的な能力が幅広く求められるようになってきました。デザイン研究科では、そのような社会的要請に応えるために、皆さんがこれまでに身につけたデザインあるいはその他の分野の専門性をベースにして、より高度なデザインの力を磨くための実践的な研究の場を提供します。



デザイン研究科において、所定の単位を取得すれば、一級建築士免許登録要件の実務経験2年として認められます。



# 国際交流

## 国際社会に貢献する開かれた大学を目指して

本学の基本理念である「国際社会に貢献する開かれた大学」の実現に向け、グローバルに活躍できる人材の育成を目指して、海外の大学と交流協定を結び、様々な交流事業を展開しています。

### 海外協定校（18校）（2026年3月現在）

#### フィンドレー大学 / アメリカ



1882年に開学し、現在は経営学部、教育学部、医療学部、教養学部、薬学部、理学部の6学部から成る総合大学です。オハイオ州に位置し、学生数約4,000人、地域との結びつきが強く、留学生に対するサポート体制も充実しています。

#### イズミル経済大学 / トルコ



2014年より産学共同国際ワークショップで交流を深め、2015年に交流協定を締結しました。イズミル経済大学（2001年創立）は、2大学院、7学部、2専門学校からなる総合大学で、英語で授業、外国籍の教員が多数在籍する国際色豊かな大学です。デザイン学部を有しており、今後もデザインワークショップ開催、留学生受け入れなど交流を行ってまいります。

#### ブルゴーニュ大学 CIEF / フランス



ブルゴーニュ大学は、1722年創立、フランスのブルゴーニュ地方に5つのキャンパスを持つ国立総合大学で、学生数30,000人、教員数4,000人を数えます。国際フランス語センターは、ティジョン市のメインキャンパス内にあり、大学の学部に対応する一機関として毎年3,000人以上の留学生を受け入れています。

#### アイルランガ大学 人文学部 / インドネシア



1954年にインドネシア第2の都市スラバヤに設立された国立総合大学。人文学部には2006年に日本研究学科が開設され、4学年あわせて200人を超える学生が日本文化を学んでいます。本学からの留学生には人文学部の授業のほか、留学生別科BIPAでの語学科目も単位認定されます。

#### ボローニャ大学 / イタリア



1088年の創立で「世界最古の大学」とも言われている国立の総合大学です。イタリアのエミリア・ロマーニャ州の州都であるボローニャ市にあり、在籍学生数は10万人を超えています。アートマネジメント研究の分野においては、総合芸術学科（1970年創立）が先進的研究拠点となっています。

#### 国立台湾師範大学 / 台湾



国立台湾師範大学は、1946年に設立された台北市に本拠を置く国立大学で、国際的に語学教育分野での評価が高い大学です。本学は2016年に語学研修生の派遣を行い、同年に交流協定を締結しました。交換留学、語学研修を中心に交流しています。

ウェールズ大学トリニティ・セント・デイビッド / イギリス	ウダヤナ大学 / インドネシア	華東師範大学 / 中国	国立高等装飾美術学校 / フランス
サザンクロス大学 / オーストラリア	サンパウロ大学 / ブラジル	浙大城市学院 / 中国	ダッカ大学 / バングラデシュ
湖西大学校 / 韓国	ルール大学ポッフム / ドイツ	ワルシャワ美術アカデミー / ポーランド	BESIGN（コートダジュール大学） / フランス

### 語学研修

実体験を通じて異文化への理解を深めることは、真の国際人としての感性を養う上で、欠くことのできない条件です。本学では世界に通じる人材育成を目指して、世界各国への研修を実施するなど、語学研修の充実にも努めています。（毎年プログラム内容を見直しています）

#### 2025年度 語学研修先

- |                       |                              |
|-----------------------|------------------------------|
| ビクトリア大学 / カナダ：英語      | ブルゴーニュ大学 CIEF / フランス：フランス語   |
| バンガー大学 / イギリス：英語      | 国立台湾師範大学 / 台湾：中国語            |
| アテネオ大学ダバオ校 / フィリピン：英語 | CCEL クライストチャーチ / ニュージーランド：英語 |

### 国際交流センター

グローバルな視野と地域の視点を併せ持つことにより、多文化を理解し、世界の人々と積極的に関わることができる人材育成の支援を行っています。

■ 主な事業：留学支援 / 国際交流 / 多文化共生への取り組み

# 特徴的な教育・研究活動

## 社会とのかかわりの中で学ぶ

すべての人がそれぞれの違いを認め合い、尊重し合える社会を築くために、研究・教育活動を展開しています。さまざまな実践的取り組みを通してより深い学びが可能になります。

## ユニバーサルデザイン／インクルーシブデザイン

年齢、性別、身体能力、言語など、人々が持つさまざまな特性や違いを超えて、すべての人が利用しやすいものづくり、まちづくりや社会づくりを行うこと、それがユニバーサルデザイン／インクルーシブデザインの概念です。本学では、これからの社会に欠くことのできないデザインの基本的な考え方を、文化政策・デザイン両学部で学ぶことができます。大学施設にはユニバーサルデザインが各所に取り入れられており、実際に利用し、体感することも可能です。ユニバーサルデザイン関連コンペへの参加・受賞など、学生たちの自主的な活動も盛んです。



## 多文化共生

さまざまな国籍、多様な民族の人々がお互いの文化の違いを認め合い、対等な関係を目指していくことが多文化共生の理念。

教育面では、講義で学ぶだけでなく、実際に外国籍の児童・生徒の学習支援事業など実践的な活動も行い、多文化共生社会の実現を目指しています。また、日本語教員養成課程\*を設置し、地域や企業の中で異なる文化的背景を持つ人同士が共存する手助けができる人材を育成しています。地域貢献面では、地域社会と連携し、行政・教育分野の政策立案などを通して、地域に貢献しています。これらの活動では学生がボランティアとして、時には中心的な立場で運営に参加しています。

外国籍の人々が多く暮らす浜松は多文化共生を学ぶ有意義な場なのです。

\*多文化共生の地域づくり、日本語教育をする力の底上げ、異文化コミュニケーション能力の向上といった「社会ニーズ」、外国人労働者への日本語教育といった「企業ニーズ」、これら2つのニーズに応えた課程です。



## アートマネジメント

アートマネジメントというと、音楽会や展覧会等の事業を企画運営することだと捉えている人も多いかもしれません。しかし本来のアートマネジメントは、これらの事業を継続的に実施する組織、すなわち楽団や劇団、ホールや劇場、美術館等の運営のことを指します。しかもそれを営利目的ではなく、公益的な目的のために行う、非営利組織のマネジメントであるというのが特徴です。

本学では開学以来、社会科学系教員と音楽・美術・演劇などの芸術系教員が連携して、アートマネジメント教育を行ってきました。学部・大学院共に、アートマネジメント教育の国際組織である芸術経営教育者協会（AAAE）の正会員として、国際基準に沿ったカリキュラムを提供し、研究機関としてもアートマネジメントの日本における拠点として実績を積み重ねています。

卒業生や大学院修了生は、全国の文化施設等、アートマネジメントの現場で活躍しています。



# キャンパスガイド

浜松市中心部に位置する、文化・芸術の発信地となる個性的なキャンパス

## 施設の特徴

外観デザインには山の尾根や水の流れ、波のうねりを感じさせる緩やかな起伏を取り入れており、市民が利用可能な図書館・情報センター、自由創造工房、緑あふれる中庭「出会いの広場」や屋上「創造の丘」を設けています。

## 環境対策

建物の屋上を緑化することで、夏季・冬季の空調負荷の軽減に努めています。また、地下ピットに雨水を貯め、雑用水に利用しているほか、太陽光発電を池の循環ポンプの電源などに利用して省エネルギーを図っています。



すべての人にやさしい、アクセシブルな自由空間。



### 音声でも誘導する案内サイン

案内サインは、大学カラーのブルーを基調に、日本語と英語で表示しています。点字案内板も学内11カ所に設置され、音による誘導も行っています。



### 段差を解消するスロープ

弾力のある滑りにくい素材を使用し、高さ75cmごとに踊り場を設けるなど、安全性にも配慮しています。



### スムーズに通過できる広い出入口

出入口には、120cm以上の自動ドアを採用し、大ガラス面には衝突防止シールが貼られています。床には段差がなく、スムーズに出入りできます。

## ユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザインとは、年齢や性別、文化・言語の違い、能力の如何にかかわらず、すべての人が利用できるようにモノや空間をデザインするという考え方です。これまでの多くの道具や建築物は、平均的な人が使いやすいようにデザインされており、そうでない人には利用できなかったり、過度の負担を強いたりしていました。これからの道具や建築物には、あらかじめ多様な人々の利用を想定し、アクセスを可能にしておく配慮が必要とされています。古くから「用と美」という言葉があるように、本学では、機能性と審美性を備えた、さりげなく、美しく、できる限り多くの人のアクセスを可能にするユニバーサルデザインを目指しています。



### 多機能型トイレとサイン

トイレの種類は、男性、女性、多目的の3種類。各々の違いを識別できるよう、入口には手が届く高さに点字を設置しています。



### ゆったりとした廊下や階段

廊下も階段も幅が広く、ゆったりとすれ違えるよう設計されています。廊下は無駄な凹凸がなく、階段は踏み面を広くとり、勾配も緩やかです。



### 誰もが利用しやすい通路

図書館・情報センターでは、書架のあいだのスペースを広く取り、人のすれ違いや車椅子の方が利用しやすい余裕を持った設計がされています。開放感がある高い天井で、柔らかい照明の明るい館内です。

# 施設・設備紹介

緑と共生するキャンパスです



出会いの広場



創造の丘



学生ホール前（中庭）



図書館・情報センター



講堂



文化・芸術研究センター



ギャラリー



大講義室



体育館

## ART WORK

アートワーク

### 出会いの広場のアートワーク Transparent Doubts

出会いの広場に展示されたアートワーク。ガラスに囲まれた不思議な空間が、創造性をかき立てることから「瞑想ベンチ」の愛称で呼ばれています。  
artist : Jaume Plensa



### 創造の丘のアートワーク Furnishing

大きさが異なる7つのベンチは、最大のもので高さ1.8m。日常の見なれた風景の中で意外な発見をすることへのインスピレーションを与えてくれます。  
artist : Inges Idee



### 池の中のアートワーク Apollo Plan

アンテナ、スピーカー、メガホンなど、情報交換の手段として使用される機器をモチーフにした作品。人々が交流する開かれたネットワークを象徴しています。  
artist : 真喜志 奈美

# 工房紹介

実践的な教育を実現する工房・各種機器が揃っています



【造形系工房】木材加工室  
木工素材でモデルや作品を制作する。



【造形系工房】金属工房  
彫金・鍛金・鍍金技法を用いた金属の加工造形をする。



【造形系工房】クレイモデル室  
クレイ（粘土）で大型モデルを制作する。



【造形系工房】陶芸工房  
陶芸の実習や作品制作を行う。



【造形系工房】テキスタイル工房  
染めや織などのテキスタイル作品を制作する。



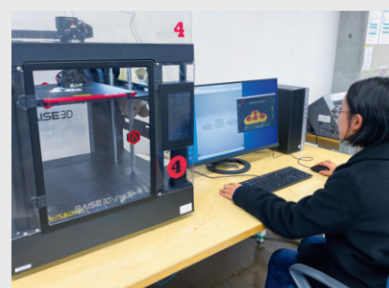
【造形系工房】撮影スタジオ  
制作作品や完成モデルを撮影する。



【情報系工房】マルチメディア室  
デジタルサウンド編集やゲーム等を作成・編集する。



【情報系工房】グラフィックWS室  
CG作品や映像作品を作成・編集する。



【実験系工房】工作室  
CADやCGのデータをもとに3Dプリンター等で制作する。

## その他の工房

### 造形系工房

- 金属加工室
- ガラス工房
- 塗装乾燥室
- ドライモデル室
- プラスティック加工室
- 木彫工房
- 立体工房
- 製図室
- 平面工房
- 染色工房
- CAD/CAM室
- 暗室
- デッサン室
- 録音スタジオ
- 総合組立アトリエ

### 実験系工房

- 構造実験室
- 空間演出実験室
- 人体機能実験室
- UDラボ

### 情報系工房

- 電子制御機器製作室
- OA室

# 開かれた大学

時代の流れをいち早く反映した特色ある科目の設置、学ぶ意欲を持った社会人等の受け入れ、  
地域の人々への施設開放、そして、企業や国際社会との交流…。

静岡文化芸術大学は、「地域」「国際」「世代」など、あらゆる対象に向けて「開かれた大学」であり続けます。

## 地域との交流活動

地域社会へ、大学の教育とノウハウを提供していきます。共同研究や受託研究など産官学の連携を推進します。

## 生涯学習の場として

静岡文化芸術大学は、勉学の機会を拡げ、地域の皆さんの学習意欲、知的好奇心に応えられる生涯学習の場、「開かれた大学」でありたいと考えています。入学試験に合格し、正規学生として学んでいる社会人学生や、希望科目の単位修得を目指す科目等履修生、授業のみを受講する社会人聴講生など、多くの社会人の方が本学で学んでいます。

### 科目等履修生制度

科目等履修生とは、本学の授業科目（演習科目等の特定の科目を除く）を学生とともに履修し、試験等による評価を受けることで単位を取得できます。

### 社会人聴講生制度

授業科目（演習科目等の特定の科目を除く）を正規の学生と一緒に聴講することができます。試験等を受けることはなく、単位の取得はできません。

### 公開講座

一般市民の方を対象とした講座を開催しています。講座内容は本学の専門分野を活かしたものを設定しています。

### 各種セミナー・文化事業

本学教員による研究成果の発表会や、地域の文化振興に寄与する文化・芸術関連のセミナーなどを開催しています。

## 文化・芸術研究センター

学部・研究科の連携による研究活動を推進し、学術・文化芸術に関わる研究成果の情報発信を行っています。

## 地域連携センター

文化やデザインに関する本学の知見を活かした産業振興や地域づくりのため、産学官民の連携を推進しています。



## 大学施設案内

小・中学校、市民団体等を対象に施設案内を実施しています。校外学習や研修等、目的に応じた内容でご案内いたします。

問合せ/事務局企画室：TEL.053-457-6113

## 高等学校との連携 (高大連携)

本学教員が高校で講義を行ったり、本学の通常授業を高校生が聴講したりするなど、高校との連携を推進しています。また、高校教員の皆様に、本学への理解をより深め、進路指導の参考にしていただくため、高校教員を対象としたオープンキャンパスを始め、大学見学や進学相談会を実施しています。

問合せ/事務局入試室：TEL.053-457-6401

## 地域社会への開放施設

生涯教育の場として、地域社会に大学を開放しています。

### 図書館・情報センター

約28万冊の図書、約1,700タイトルの新聞・雑誌、約4,500点の視聴覚資料（CDやDVD等）を所蔵しています。利用者カードを作成すれば、所蔵資料（一部を除く）の貸出も可能です。

#### 開館時間

- ・ 授業期間（月～金）  
8:45～20:00
- ・ 春期・夏期などの休業期間  
9:00～17:00
- ・ 土曜日  
10:00～17:00

※開館時間・休館日の詳細は、センターWebサイトをご覧ください。

#### 休館日

- ・ 日曜日、国民の祝日  
（振替休日も含む）
- ・ 年末年始
- ・ その他臨時休館日

問合せ | 図書館・情報センター  
TEL. 053-457-6124 FAX. 053-457-6125



### 購買

北棟2階学生ラウンジ横の購買では、パンや弁当、書籍、文房具、画材、フェアトレード商品も取り扱っています。

#### 営業時間

平日 9:30～18:15



問合せ | 静岡文化芸術大学生生活協同組合（購買・食堂）  
TEL. 053-453-5702  
※大学休業期間などに時間変更や閉店することがあります。

### 学生食堂

北棟3階にある学生食堂は、どなたでも利用できます。日替ランチ、カレー、麺類など多彩なメニューをお楽しみください。

#### 営業時間

平日 11:00～14:00



# 学生データ・学納金

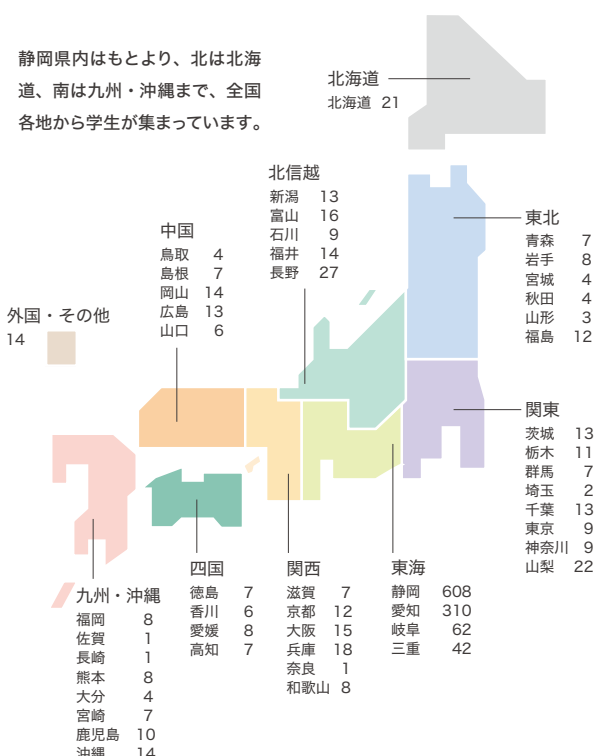
## 学生データ

### 全国各地から集まる学生、少人数教育によりきめ細かい指導を実践

本学の学生は全国各地から集まっています。また、海外からの留学生の受け入れにも積極的に取り組んでいます。指導にあたっては少人数制教育を基本に学生へのきめ細かい対応を実現。個々の能力アップに力を注いでいます。

#### 都道府県別出身地（学部生）

(2026年4月1日現在)



#### 在籍者数

(2026年4月1日現在)

学部	学 科	1年生	2年生	3年生	4年生	学科計
文化政策	国際文化	107	111	101	146	465
	文化政策	56	58	60	68	242
	芸術文化	58	60	59	62	239
学 部 計		221	229	220	276	946
デザイン	デザイン	116	119	119	141	495
	学 部 計	116	119	119	141	495
2学部計		337	348	339	417	1,441

	研 究 科	1年生	2年生	研究科計
大学院	文化政策	5	7	12
	デザイン	7	15	22
2研究科計		12	22	34

学部 + 大学院 合計	1,475
-------------	-------

## 学納金

### 入学生に適用する学納金

(2026年度)

区 分	県内の入学者	県外の入学者	摘 要
入学金	141,000円	366,600円	入学時
授業料（年額）	535,800円		

## 学費の支援体制

### 授業料の支援

授業料を一括で納入することが困難な場合には、国の修学支援新制度（授業料減免を含む）や本学独自の分割納入制度をご案内しています。

### 各種奨学金制度

日本学生支援機構、民間団体、自治体の奨学金（貸与・給付）をご案内しているほか、留学希望者には本学独自の支援制度を用意しています。

# 就職実績

## 幅広い分野、多彩な職種に、進出しています

在学中にどれだけの付加価値をつけることができたのかを判断される就職状況。

一人ひとりの可能性を活かす静岡文化芸術大学の教育に対する社会の回答が、ここに現れています。

### 過去の就職先 (抜粋) 分野ごとに五十音順に記載

2026年5月1日現在

### 文化政策学部

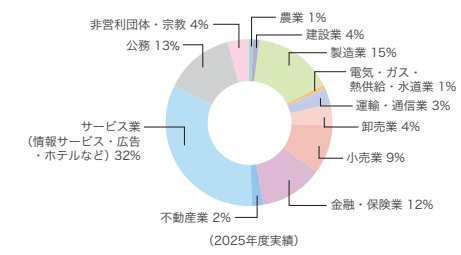
- ハウジング・建設業**
  - (株)一条工務店
  - 須山建設(株)
  - セキスイハイム東海(株)
  - 中村建設(株)
- 製造業**
  - エンケイ(株)
  - エンシュウ(株)
  - カリモク家具(株)
  - (株)河合楽器製作所
  - 共和レザー(株)
  - (株)小糸製作所
  - ジャトコ(株)
  - (株)シャトルレーゼ
  - (株)シャンソン化粧品
  - (株)春華堂
  - スズキ(株)
  - (株)鈴木楽器製作所
  - スター精密(株)
  - スタンレー電気(株)
  - (株)SUBARU
  - タカラスタンダード(株)
  - トクラス(株)
  - 凸版印刷(株)
  - トヨタ自動車(株)
  - (株)デンソー
  - 浜名湖電装(株)
  - はころもフーズ(株)
  - 浜松ホトニクス(株)
  - 矢崎総業(株)
  - (株)ヤタロー
  - ヤマハ(株)
  - ヤマハ発動機(株)
  - (株)ユタカ技研
  - ローランド(株)
  - ローランド ディー・ジー(株)
  - (株)ROKI
- 運輸・旅行業**
  - (株)天野回漕店
  - ANAエアポートサービス(株)
  - (株)エイチ・アイ・エス

- エミレーツ航空
- 遠州鉄道(株)
- (株)日本旅行
- (株)JR東海ツアーズ
- (株)JTB
- 静岡鉄道(株)
- 鈴与(株)
- 清和運送(株)
- 全日本空輸
- 東海旅客鉄道(株)
- 東武トップツアーズ(株)
- (株)阪急交通社
- 東日本旅客鉄道(株)
- 富士山静岡空港(株)
- (株)フジドリームエアラインズ
- 電気・ガス・水道業**
- サウラエナジー(株)
- (株)TOKAIホールディングス
- 卸売・小売業**
- (株)安心堂
- イオンリテール(株)
- (株)伊勢福
- (株)エディオン
- (株)遠鉄ストア
- (株)遠鉄百貨店
- (株)紀ノ國屋
- (株)杏林堂薬局
- コーセー化粧品販売(株)
- (株)静岡伊勢丹
- ジョルジオアルマーニジャパン(株)
- (株)スクウェア・エニックス
- 鈴与商事(株)
- (株)ZOZO
- (株)TOKYO BASE
- (株)ニコン
- (株)ニッポン放送プロジェクト
- (株)ニトリ
- (株)ビックカメラ
- (株)プシロード
- (株)ファーストリテイリング
- (株)良品計画

- (株)ロフト
- 金融・保険業**
- 岡崎信用金庫
- 岡三証券(株)
- JAあいち中央
- JA静岡経済連
- JAとびあ浜松
- (株)静岡銀行
- 静岡県信用保証協会
- 静岡県労働金庫
- しずおか焼酎信用金庫
- 静岡ビジネスクレジット(株)
- 島田掛川信用金庫
- (株)清水銀行
- 第一生命保険(株)
- 東京海上日動火災保険(株)
- 日本生命保険(相)
- 浜松磐田信用金庫
- 三井住友海上火災保険(株)
- (株)三菱UFJ銀行
- 明治安田生命保険(相)
- (株)ゆうちょ銀行
- 放送・広告業**
- (株)エイエビー
- (株)SBSプロモーション
- (株)静岡朝日テレビ
- (株)静岡新聞社
- (株)静岡博報堂
- テレビ静岡システムクリエイツ(株)
- (株)テレビ山梨
- トヨタ・コニック・プロ(株)
- (株)日テレ アックスオン
- 日本放送協会
- 浜松ケーブルテレビ(株)
- (株)ビーエーシー
- 情報・その他サービス業**
- (株)内田洋行 ITソリューションズ
- (株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ
- (株)オリエンタルランド
- (株)エヌ・ティ・ヴァータ
- オークラアクティビティホテルマネジメント(株)

- (株)シアターワークショップ
- (株)静岡中島屋ホテルチェーン
- (株)スタジオびる
- (株)東急レクリエーション
- (株)星野リゾートマネジメント
- (株)丹青ディスプレイ
- 中部国際空港旅客サービス(株)
- ヤマハモーターソリューション(株)
- 日本郵便(株)
- (株)若尾綜合舞台
- 文化施設・団体等**
- 国立大学法人職員
- (独)国立病院機構
- サントリーパブリシティサービス(株)
- (公財)静岡県文化財団
- (公財)静岡市文化振興財団
- (福)聖隷福祉事業団
- (株)宝塚舞台
- (公財)豊橋文化振興財団
- (公財)名古屋市文化振興事業団
- (公財)日動美術財団
- (独)日本芸術文化振興会
- 日本年金機構
- (株)エイエビー
- (公財)浜松市文化振興財団
- 浜松商工会議所

- (公財)三重県文化振興事業団
- (公財)横浜市芸術文化振興財団
- 公務**
- 愛知県公立学校教員
- 愛知県庁
- 大田区役所
- 掛川市役所
- 金沢国税局
- 群馬県庁
- 警視庁
- 国土交通省中部運輸局
- 静岡県警察本部
- 静岡県公立学校教員
- 静岡県庁
- 静岡県文化財団
- 静岡県地方検察庁
- 静岡県地方裁判所
- 静岡労働局
- 渋谷区役所
- 豊橋市役所
- 長野県庁
- (独)日本芸術文化振興会
- 浜松市役所
- 福島県庁
- 三重県庁
- 山梨県庁



### デザイン学部

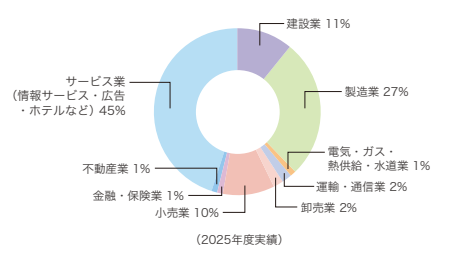
- ハウジング・建設業**
  - (株)池田建築設計事務所
  - (株)一条工務店
  - (株)イリア
  - (株)金沢伝統建築設計
  - サウラ住宅(株)
  - 佐藤工業(株)
  - 住友林業(株)
  - セキスイハイム東海(株)
  - 積水ハウス(株)
  - 大和ハウス工業(株)
  - タマホーム(株)
  - (株)鉄建設計
  - 飛鳥建設(株)
  - 中村建設(株)
  - (株)中村組
  - 日本国土開発(株)
  - (株)平成建設
  - (株)ミサワホーム静岡
  - 三井ホーム(株)
  - (株)ミルックス
  - 堀部安嗣建築設計事務所
  - (株)類設計室
  - 渡辺隆建築設計事務所
- 製造業**
  - アイリスオーヤマ(株)
  - いすゞ自動車(株)
  - (株)イトーキ
  - エレコム(株)
  - エンケイ(株)
  - オカモト(株)
  - (株)オリバー
  - カイ イングストリーズ(株)
  - 柏木工(株)
  - (株)河合楽器製作所
  - キヤノン(株)
  - 共和レザー(株)
  - クツク(株)
  - (株)クボタ
  - クリナップ(株)

- (株)ケイ・ウノ
- (株)小糸製作所
- コクヨ(株)
- (株)コルグ
- (株)コンビ
- サンスター文具(株)
- シマノ(株)
- シャープ(株)
- (株)シャンソン化粧品
- (有)春華堂
- スズキ(株)
- (株)鈴木楽器製作所
- スタンレー電気(株)
- (株)SUBARU
- セーラー万年筆(株)
- セイコーエプソン(株)
- (株)セガトイズ
- ダイハツ工業(株)
- タカラスタンダード(株)
- (株)東芝
- TOTO/バスクリエイト(株)
- トクラス(株)
- トヨタ自動車(株)
- トヨタ自動車東日本(株)
- (株)豊田自動織機
- トヨタ車体(株)
- 日本たばこ産業(株)
- 日本メナード化粧品(株)
- パナソニック(株)
- (株)エレコム
- 林テレンプ(株)
- (株)パルティ
- 飛騨産業(株)
- (株)日立製作所
- 富士ゼロックス(株)
- ブラザー工業(株)
- フランスベッド(株)
- ブリヂストンサイクル(株)
- (株)本田技術研究所
- (株)マキタ
- マツダ(株)

- 三菱自動車工業(株)
- 未来工業(株)
- (株)ムーンスター
- (株)ヤタロー
- ヤマハ(株)
- ヤマハ発動機(株)
- (株)リヒトラブ
- リンナイ(株)
- レンジック(株)
- レック(株)
- ローランド ディー・ジー(株)
- 卸売・小売業**
- オルビス(株)
- (株)サンサタハサジャパンリミテッド
- シャティ(株)
- (株)千趣会
- (株)タカラミニアーツ
- (株)たご満
- (株)TASAKI
- (株)中川政七商店
- (株)ニトリ
- (株)プシロード
- (株)ユナイテッドアローズ
- (株)良品計画
- 放送・広告業**
- (株)アマナ
- (株)朝日メディアブレン
- UUUM(株)
- (株)エイエビー
- (株)クロステレビ
- 太陽企画(株)
- 静岡エフエム放送(株)
- (株)静岡新聞社
- (株)テレビ朝日クリエイティブ
- (株)名古屋テレビ映像
- (株)日企
- (株)博展
- 博報堂プロダクツ
- 情報・専門サービス業**
- (株)あたらす二十

- (株)カブコン
- (株)京都アニメーション
- (株)コーエーテクモホールディングス
- (株)コナミデジタルエンタテインメント
- (株)CygamesPictures
- (株)スペース
- (株)Sun Asterisk
- (株)ソニー・ミュージックエンタテインメント
- (株)GKインダストリアルデザイン
- (株)GK京都
- (株)GKグラフィックス
- (株)ジイケイ設計
- (株)GKダイナミックス
- (株)JR西日本コミュニケーションズ
- (株)セガ
- (株)丹精社
- (株)JDM.comラボ
- (株)テクノサイト
- (株)トダウンゴ
- 東映アニメーション(株)
- (株)ナビタイムジャパン
- (株)日産オートモーティブテクノロジー
- (株)日本テレビアート
- パナソニック映像(株)
- (株)ビーエーワークス

- フェンリル(株)
- 富士ソフト(株)
- ポリゴンマジック(株)
- (株)ホンダテクノフォート
- (株)ミクシィ
- (株)ランドマック
- その他サービス業**
- 磐田商工会議所
- オークラアクティビティホテルマネジメント(株)
- (株)オリエンタルランド
- (株)京都ホテル
- 四季(株)
- (公財)静岡市文化振興財団
- 公務**
- 愛知県警察本部
- 愛知県公立学校教員
- 尼崎市役所
- 掛川市役所
- 神戸市役所
- 国税専門官
- 静岡県警察本部
- 静岡市役所
- 島田市役所
- 豊橋市役所



※上記企業の他にも、多数の企業・団体等から内定をいただいております。なお、各社の業種別への分類は本学の分類によるものです。

# 役員・教員等一覧

## 法人役員等一覧

2026年5月1日現在

理事	理事長 佐々木 雅幸 静岡文化芸術大学学長	理事（常勤） 都築 直哉 元静岡県スポーツ・文化観光部長	理事（常勤） 森 俊太 元静岡文化芸術大学副学長	理事（非常勤） 小林 真理 東京大学大学院 人文社会系研究科教授
監事	松田 隆広 弁護士 あおば法律事務所	藤田 将司 公認会計士・税理士 藤田将司公認会計士税理士事務所		
経営審議会委員	佐々木 雅幸 公立大学法人静岡文化芸術大学 理事長兼学長	都築 直哉 公立大学法人静岡文化芸術大学 理事（常勤）	森 俊太 公立大学法人静岡文化芸術大学 理事（常勤）	小林 真理 公立大学法人静岡文化芸術大学 理事（非常勤）
	増田 俊彦 公立大学法人静岡文化芸術大学 事務局長	斉藤 薫 浜松商工会議所会頭 遠州鉄道（株）相談役	寺田 聖子 （公財）浜松市文化振興財団 常任理事	中野 祐介 浜松市長
	桧森 隆一 元北陸大学副学長	福田 尚 スズキ（株） 人材開発本部長	山崎 貴裕 （有）春華堂代表取締役社長	
教育研究 審議会委員	佐々木 雅幸 静岡文化芸術大学 学長	都築 直哉 公立大学法人静岡文化芸術大学 理事（常勤）	森 俊太 公立大学法人静岡文化芸術大学 理事（常勤）	服部 守悦 静岡文化芸術大学 副学長 キャリアセンター長
	谷川 真美 静岡文化芸術大学 副学長 学生部長	加藤 裕治 静岡文化芸術大学 文化政策学部長	藤井 尚子 静岡文化芸術大学 デザイン学部長	上山 典子 静岡文化芸術大学 文化政策研究科長
	中野 民雄 静岡文化芸術大学 デザイン研究科長	小杉 大輔 静岡文化芸術大学 教務部長	奥中 康人 静岡文化芸術大学 文化・芸術研究センター長	曾根 秀一 静岡文化芸術大学 地域連携センター長
	かわ こうせい 静岡文化芸術大学 図書館・情報センター長	武田 淳 静岡文化芸術大学 国際交流センター長	二本松 康宏 静岡文化芸術大学 入学試験・高校大学連携センター長	増田 俊彦 静岡文化芸術大学 事務局長
	高田 和文 静岡文化芸術大学名誉教授	織田 敦 静岡県高等学校長会会長 （静岡県立静岡高等学校校長）		

## 専任教員一覧

※大学院兼任 2026年度在籍教員

学長 佐々木 雅幸      副学長 服部 守悦      副学長 谷川 真美

### 文化政策学部 学部長 加藤 裕治

国際文化学科	教授/学科長	教授	教授	教授	教授
	横田 秀樹※	青木 健	林 在圭	岡田 建志	倉本 哲男
	教授	教授	教授	教授	教授
	佐野 由紀子	Edward Pearse SARICH	高木 邦子	永井 敦子	西田 かほる※
	教授	教授	教授	教授	准教授
	二本松 康宏	水谷 悟	兪 嶸	Jack RYAN	石坂 貴美※
准教授	准教授	准教授	准教授	准教授	
内尾 太一※	崔 学松	佐伯 康考	武田 淳※	徳増 克己	
准教授	准教授	准教授	准教授	准教授	
中田 健太郎	西脇 靖洋	萩原 里香	福永 達士	宮崎 千穂※	
文化政策学科	教授/学科長	教授/学部長	教授	教授	教授
	林 左和子	加藤 裕治※	小杉 大輔	鈴木 浩孝※	曾根 秀一※
	教授	教授	教授	特任教授	教授
	田中 啓※	藤井 康幸※	船戸 修一	森山 一郎※	四方田 雅史※
准教授	准教授	准教授			
小林 淑恵	塩見 佳也※	野島 那津子※			
芸術文化学科	教授/学科長	教授	教授	教授	教授/文化政策研究科長
	高島 知佐子※	梅田 英春※	奥中 康人※	片桐 弥生	上山 典子※
	教授/副学長	教授	准教授	准教授	准教授
	谷川 真美※	永井 聡子※	稲山 玲	佐藤 良子※	南田 明美
講師	講師				
田ノ口 誠悟※	藪田 淳子				

### デザイン学部 学部長 藤井 尚子

デザイン学科	教授/学科長	教授	教授	教授	教授
	岩崎 敏之※	植田 道則※	小川 直茂※	小浜 朋子※	亀井 暁子※
	教授	特任教授	教授	教授	教授/デザイン研究科長
	かわ こうせい※	佐井 国夫※	迫 秀樹※	高山 靖子※	中野 民雄※
	特任教授/副学長	教授	教授/学部長	教授	特任教授
	服部 守悦※	花澤 信太郎※	藤井 尚子※	Jérôme BOULBÈS	的場 ひろし※
	教授	准教授	准教授	准教授	准教授
	和田 和美※	荒川 朋子	小川 和孝	小田 伊織※	新妻 淳子
	准教授	准教授	准教授	准教授	准教授
	丹羽 哲矢※	百束 朋浩※	松江 幸子※	松田 達	宮地 良治※
	講師	講師	講師	講師	助教
倉澤 洋輝	古賀 真弥	佐藤 亜矢子	山本 彩	遠藤 祐輔	
特任助手	特任助手	特任助手	特任助手	特任助手	
王 雪陽	太田 正明	丹羽 あや	根木 隆之	羽島 昂平	
特任助手	特任助手	特任助手			
榎井 孝暢	松本 里穂	光延 咲良			

文化・芸術研究センター  
センター長/芸術文化学科教授 奥中 康人

地域連携センター  
センター長/文化政策学科教授 曾根 秀一

図書館・情報センター  
センター長/デザイン学科教授 かわ こうせい

キャリアセンター  
センター長/副学長 服部 守悦

国際交流センター  
センター長/国際文化学科准教授 武田 淳

入学試験・高校大学連携センター  
センター長/国際文化学科教授 二本松 康宏



# 静岡文化芸術大学

SHIZUOKA UNIVERSITY OF ART AND CULTURE

S U A C

〒430-8533 静岡県浜松市中央区中央 2-1-1

TEL.053-457-6111 FAX.053-457-6123



◎JR浜松駅より徒歩15分 ◎遠州鉄道「遠州病院駅」下車、徒歩8分  
◎遠鉄バス「文化芸術大学」下車